

南信州広域連合第10回広域連合会議 結果報告

日時：令和4年1月17日(月) 15:25～16:05

場所：Web会議

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長

野牧広域振興係長・伊藤庶務係長・松澤庶務係主事

1 開会…15:25

2 広域連合長あいさつ

今年最初の広域連合会議となります。今年もよろしく申し上げます。

最近の状況として、とにかくコロナウイルスが南信州圏域にも拡大しており、各町村長も対応に追われていることと思う。これまでの株に比べ、非常にウイルス量の増大が早く、今までの対応が必ずしも通用しない状況であり、今後もしばらく感染者数の高止まりが続くと思うが、情報共有を密に対策していきたいと思う。また、後ほど協議・報告事項の中で説明するが、そういった環境の中で、信州大学新学部の誘致に関わる協議会についても15日に設立総会を予定していたが、書面決議での対応となった。その点についてはご了承いただくとともに、どこかの機会が集まれる場を設けることができると思っている。

本日の連合会議は、こういった状況下においても様々な動きを止めないようという趣旨でオンラインにて実施をさせていただいた。住民の皆様にも行動の抑制をお願いしているわけではあるが、あまり過度になり過ぎて、こうした動きが止まってしまうということは避けたいと思っている。

3 協議・報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

*飯田保健福祉事務所長から

ワクチン接種について、各自治体において3回目の接種が行われているところだと思う。そのような中で、現在のオミクロン株の増加の傾向は、ワクチンが追いつかないタイミングで増えてきている。3回目のワクチンを接種できればそれに越したことはないが、2回の接種を終えた方々でも、抗体を作る細胞が体内にあるため、ウイルスが入ってきたとしても体内で中和するよう働きかけることができる。不安な方も多いかもしれないが、過度に心配せずに、基本的な感染対策をしっかりと行っていただきたい。

(主な意見等)

連合長：3回目のワクチン接種を急ぐにしてもそれまでの間は、しっかりと対応していかなければならない中で、住民の皆様も基本的な感染症対策とはなにをすれば良いのかと困惑している方もいると思う。飯田市としても、とにかくマスクをしっかりと着用し、人と会話をする際もマスクを外すことがないようにと、ほぼ一点に絞って広報しているが、こういった広報の仕方で良いのか。

飯田保健福祉事務所長：良いと思う。飲食店等においてもクラスターが出たが、きちんとした対応（食事中は極力会話を控え、食事中以外はしっかりとマスクを着用）ができれば飲食等も問題ないと考える。

連合長：わかりました。振興局からはなにかあるか。

振興局長：各自治体、住民の皆様には日頃からご協力いただき感謝している。現時点においてはしっかりと広報をしていくことで感染拡大を防止することが重要であると思っている。引き続きご協力願いたい。

天龍村：簡易検査キットについて、以前、まとめて飯田市で購入したものを町村へも配布していただき非常に役立った。現在、飯田市でも在庫が減っていると聞いているが、追加等の購入は検討されているか。

連合長：年明け分として3万4千個を用意していたが、先週、即日配布や郵送配布を行いほぼなくなった。配布を見越して発注もかけているが、今後の配布方法については要検討していく必要がある。医療現場や介護施設の職員が勤務を継続していけるよう優先的に配布できればと思っている。

下條村：簡易検査キットの使用について、今までは暴露を受けた可能性がある時に1回、その後72時間おいてから2回目の検査をしていたが、非常にオミクロン株が流行る中で、検査の間隔は変わってきているか。

保健福祉事務所長：現在の状況からすると、72時間後ではなく、48時間後に検査をするほうが良い。

(2) 信州大学新学部の誘致について 【事務局長】 ～資料No.1～

*経過等

12月22日に各経済団体の皆様から広域連合長宛に要望書が提出された。この要望書を受理するとともに推進協議会を立ち上げるという提案がなされ、その場で発起人会に切替え、会議が行われた。その後、年末から推進協議会の加入申込を受け付けている状況。本来であれば15日に設立総会を計画していたが、新型コロナウイルスの感染状況から書面決議へと変更した。書面決議については1月23日を回答期限とし、賛成が過半数を超えれば可決され、推進協議会が設立となる。

→ 質疑等なし

(3) 飯田広域消防本部から 【消防長】 ～資料No.2～

ア 救命サポート隊の活動及び検証等について

<概要>

生命に危険が迫った状況では、早期の対応が重要であることから、救急車が到着するまでの間、清内路振興室の職員が現場に駆け付け応急手当を行う「救命サポート隊」を組織し、阿智村清内路地区において、平成28年3月1日から試行運用を開始。運用から5年が経過し、検証結果がまとまったため報告。

<試行運用結果>

- ・平成28年3月1日～令和3年9月30日の間、清内路地区からの救急要請総件数は132件。うち、救命サポート隊の勤務時間中の救急要請件数は43件で、救命サポート隊が出動した件数は8件。
- ・傷病者に接触するまでに要する時間は、救急隊に比べ救命サポート隊の方が約7.75分早い（救命サポート隊の出動時間は消防覚知の約3分後）。
- ・救命サポート隊の実施した応急手当は、胸骨圧迫、AED装着、傷病者の移動や体位管理、状況聴取等。
- ・活動後、事後のメンタルチェックで異常を訴える隊員なし。

<検証>

- ・清内路地区住民へアンケート調査を実施したところ継続を望む意見が多数であった。また、救急隊

よりも現場への到着が8分ほど早いことから「救命のリレー」の一翼を担っていると考える。

- ・早期の心肺蘇生法の実施はもとより、傷病者の移動や体位管理、状況聴取等、救急隊到着後の活動が迅速に行えるようサポートいただいている。
- ・今後の課題として、夜間や休日等における救命サポート隊の運用の要望や、地区居住者（医療従事者等）参加による救命サポート隊の運用など、常時サポート体制についての要望が複数寄せられた。
- ・当該地区における救命のリレーの一翼を担っていることは明らかであることから、今後本格運用していくとともに、夜間や休日等における常時サポート体制についても研究を進めていく。

イ 火災発生及び救急出動件数について（1月17日現在）

- ・火災 3件（前年同日比 ±0件）
- ・救急 382件（前年同日比 +80件）

→ 質疑等なし

(4) 南信州いいむす21登録判定について 【事務局広域振興係長】 ～資料No.3～

新規1件

【株式会社セピア (97pt ★×10)】

評価のポイント

- ・自然環境に一番身近な建設業種で業務遂行される中、それが環境に直結した業務であることを十分理解され、課題を認識し環境活動に意識が高く業務を遂行している。
- ・昨今の環境事情についても、トレンドをしっかりと捉えていて、事業に反映しようとする意識を持っている。
- ・事業経営層の環境への意識が高く、会議、お茶のみの場でも気軽に環境についてディスカッションできる場があり、意識の向上が図られている。
- ・ガソリン使用量や電力データなどの環境パフォーマンスが、毎月数値管理されている。目標も具体的な数値目標が設定されている。
- ・南信州いいむす21への取り組みが、事業活動そのものへ直結する仕組みとして管理されている。

→ 異議なし。承認となる。

(5) 後援依頼について 【事務局庶務係長】 ～資料No.4～

*オーケストラと友に音楽祭2022 ～アフィニスのふるさと飯田音楽祭～

期 日：令和4年5月1日（日）、3日（火）～5日（木）

場 所：飯田文化会館、飯田市内及び郡内町村の施設等

主 催：オーケストラと友に音楽祭実行委員会・飯田市・飯田市教育委員会

共 催：名古屋フィルハーモニー交響楽団・泰阜村・泰阜村教育委員会

概 要：「市民とプロ・オーケストラとのコラボレーションにより、クラシック音楽を楽しみ、学び、子どもと市民と地域社会に広がっていく市民が創る音楽祭」を基本理念に、市民が学ぶプログラムと、市民が楽しむプログラムを中心に開催しており、今回で14回目を迎えるもの。

→ 異議なし。承認となる。

4 長野県から

特になし

5 当面の日程について

2月10日（木） リニア、三遠南信期成同盟会総会

2月18日（金） 南信州広域連合会議

6 その他
特になし

7 閉会…16 : 05